

昭和49年度

学 習 便 覧

熊 本 女 子 大 学

## はじめに

学生諸君が本学において、4年間の学生生活を有意義かつ能率的に過ごすための道標として、新入生の学習の便に供するため、学生便覧のうち学習関係の要点の抜萃と講義要項とをまとめたのが学習便覧である。これは大学における学習全般にわたつての案内書でもあるから、在学中は大切に保存し、熟読理解しておくことが望ましい。この冊子には、本学が開設している一般教育、外国語、保健体育、専門教育の各科目、教職科目などの紹介や、その履習方法、履習届など、学習計画をたてるためにならざるを得ないことが記載されている。

本学においては、必修科目のほか、多くの選択科目を用意しているが、そのすべてを4年間に学習することは、時間的にもむづかしいので、各人がそれぞれ、自分の目標や希望に適した綿密な学習計画をたてる必要がある。そのために、学年始めの1週間を、学習計画を指導助言する期間としているが、判らないことがあればいつでも教務課、科目担当の教員に遠慮なく相談してよく調べ、よく考えてまとまりのある計画をたて、充実した大学生活を送られることを希望する。

# 目 次

I 学 年 暦 (昭和49年度).....	4
II 教育課程と履修方法.....	6
1 授業科目.....	6
2 単位の種類.....	6
3 卒業の要件.....	6
(1) 在学期間.....	6
(2) 履修単位.....	7
4 履修方法.....	7
(1) 学期区分.....	7
(2) 授業時間.....	7
(3) 単位算定の基準.....	7
(4) 試 験.....	8
(5) 成績評価.....	8
5 履修手続.....	9
(1) 履修科目の決定.....	9
(2) 履修科目の登録.....	9
6 教員免許状について.....	9
(1) 免許状の種類・教科.....	9
(2) 基礎資格および最低修得単位数.....	10

ア 一般教育科目の単位の修取方法について.....	10
イ 教科に関する専門科目の単位の修得方法.....	12
7 栄養士の免許について.....	12
8 生活改良普及員資格試験受験資格について.....	13
9 卒業論文履修基準について.....	14
10 教育実習履修基準について.....	15
III 諸 手 続.....	16
1 願出・届出の提出先について.....	16
2 各種証明書の発行について.....	16
3 教員免許および栄養士免許申請について.....	16
4 欠席届について.....	16
5 休学・退学について.....	17
IV 講 義 要 項.....	18

I 昭和49年度学年暦

昭和49年 4月	1日	月	学年開始、前期開始
	12日	金	新入生登校日
	13日	土	入学式
	15日	月	} 新入生オリエンテーション
	16日	火	
	15日	月	2年～4年オリエンテーション
	17日	水	授業開始
17～24日	水～水	履修科目指定登録期間	
5月	2日	木	開学記念日
	中		定期健康診断
	中		体育祭
6月	10日	月	} 教育実習(4年)
	22日	土	
7月	11日	木	夏季休業開始
9月	10日	火	夏季休業終了
	11日	水	授業再開
10月	7日	月	} 前期試験
	14日	月	
	15日	火	} 自宅研修
	20日	日	
	21日	月	後期授業開始
	21～26日	月～土	後期履修科目登録期間
11月	中		学園祭
12月	25日	水	冬季休業開始

1月	10日	金	冬季休業終了
	11日	土	授業再開
	"	土	卒業論文提出締切日(家政・国文・英文) 正午まで
	25～31日	土～金	4年生後期試験
2月	1～15日	土～土	入学願書受付
	10日	月	卒業論文提出締切日(食物学科) 午後4時30分まで
	26日	水	} 3年以下後期試験
3月	8日	土	
3月	10日	月	卒業式
	9～24日	日～月	自宅研修
	22～23日	土～日	入学試験
	25日	火	春季休業

注………予定であるから、変更されることがある。

## II 教育課程と履修方法

### 1. 授業科目

設定してある授業科目は、つぎの種類に大別される。

#### (1) 一般教育科目

一般教育科目は人文科学、社会科学、自然科学、の3系列からなり、本学では、この一般教育を重視し、多くの科目を用意している。

#### (2) 外国語科目

本学が開設している外国語科目は英語、ドイツ語、フランス語の3カ国語で、英語を第1外国語として必修、ドイツ語およびフランス語を第2外国語とし、そのいずれかを選択して必修することになっている。

#### (3) 保健体育科目

保健体育科目は講義（理論）と実技であり、必修科目である。

#### (4) 専門教育科目

本学は、女子大学としての目的使命にかんがみ、必修科目のほか、主要科目が選択科目としても多く開講されているから、学習計画をたてるにあたって十分注意し、担当教員から適切な指導を受けること。なお、卒業論文は必修として課せられる。

#### (5) 教職専門科目

卒業の要件のほか、教職に関する専門科目を履修すれば、教員免許状が授与される。（教員免許状取得についてP9参照）

### 2. 単位の種類

単位には、必ず履修しなければならない必修単位と、自分の進路を考慮したうえで選択して履修できる選択単位がある。

### 3. 卒業の要件

#### (1) 在学期間

4年以上（休学期間を除く）在学しなければならない。ただし、8年をこえて在学することはできない。

#### (2) 履修単位

学則第17条に定められた次表の単位以上をそれぞれ履修しなければならない。

一般教育科目			外国語科目		保健体育科目	専門教育科目	合計
人文	社会	自然	英語	独語又は仏語			
単位 1 2	単位 1 2	単位 1 2	単位 8	単位 8	単位 4	単位 6 8	単位 1 2 4

### 4. 履修方法

#### (1) 学期区分

学年を分けてつぎの2学期とする。

前期 4月1日から10月20日まで

後期 10月21日から3月31日まで

#### (2) 授業時間

午 前		午 後		実験実習の場合
1時限	9:00~10:30	3時限	12:50~14:20	
2時限	10:40~12:10	4時限	14:30~16:00	16:45終了

#### (3) 単位算定の基準

各授業科目の1単位とは、教室または教室外（図書館、自宅など）における学習で、合計45時間に対して与えられるもので、つぎの基準によつて算定される。

講 義……毎週1時間15週の教室における学習と教室外における毎週2時間15週の準備のための学習

演 習……毎週2時間15週の教室における学習と教室外における毎週1時間15週の準備のための学習

実験実習……毎週3時間15週の教室（実験室・実習室）における学習

なお、本学時間割の1時限（1コマ）は2時間扱いである。

#### (4) 試験

各授業科目の試験には、定期試験、臨時試験、追試験および再試験がある。

定期試験……前期、後期の各期末に、つぎの要件を満たした者について行なわれる。ただし、1年をこえて連続する科目については、学年の終わりに行なわれることもある。

㉞ 履修科目を登録していること。

㉟ 規定授業時数の $\frac{3}{5}$ 以上(1単位について講義10時間、演習20時間、実験実習30時間以上)出席していること。

臨時試験……集中講義科目またはその他の科目について、定期試験以外の時期に行なり試験をいう。

追試験……つぎに掲げる事由により、定期試験に欠席した者で、定期試験の当該科目試験終了の日から10日以内に科目担当者の許可を得て、追試験許可願を教務課に提出したものに對して行なわれる。

㉞ 本人が病気するとき。

㉟ 就職試験と重なったとき。

㊱ 交通機関に事故があったとき。

㊲ その他やむを得ない事由があると認められたとき。

再試験……定期試験または追試験の成績が不合格の科目について、科目担当者が特に再試験を承認した場合に限り行なわれる。再試験の受験を認められたものは、再試験許可願を前期の場合11月10日まで、後期の場合4月中旬まで教務課に提出しなければならない。

追試験の成績は、得点の90%以下とし、再試験の成績は、最高成績を合格最低成績60点として認定する。

#### (5) 成績評価

授業科目の履修期間が修了したときに、平素の出席状況、研究状態および

試験成績などを総合判定して、つぎの4段階に評価される。

優	100点~80点	} 合格
良	79点~70点	
可	69点~60点	
不可	59点以下	不合格

優・良および可の評価をえたものには、その科目所定の単位が認定され、学籍簿に記載される。不合格となった科目は、翌年度あらためて履修届をして、再び履修しなければならない。

#### 5. 履修手続

##### (1) 履修科目の決定

この便覧ならびに学生便覧にてでている各学科の「教育課程」「履修方法」「教育職員免許状について」「講義要項」などをよく研究し、授業時間割と照合して、各自の履修科目を決定すること。

##### (2) 履修科目の登録(履修届)

決定した履修科目は、別に配布する履修届用紙にて記入し、前期・後期それぞれ授業開始の日から1週間以内に教務課に提出し、登録しなければならない。指定登録日以後の登録ならびにその変更および取り消しは、特別の事由がある場合を除き認められない。

履修届は、どの科目を履修するか意志表示である。従って、必修、選択を問わず履修を希望するすべての科目について行なわねばならない。この履修届をしないで、講義などに出席しても、試験を受けることは勿論、単位も与えられないから注意すること。

#### 6. 教員免許状について

卒業の要件である履修単位のほかに、教職課程科目を履修することによつて、教員免許状が得られる。

##### (1) 免許状の種類・教科

家政学科……………	中学1級・高校2級免許状	家庭
食物学科……………	” ”	”
国文学科……………	” ”	国語
英文学科……………	” ”	外国語(英語)

(2) 基礎資格および最低取得単位数

基礎資格	専門科目			
	教科に関するもの			教職に関するもの
	家庭	国語	英語	
学士号を有すること	40	32	32	14

ア、教科に関する専門科目の単位の修得方法

教育職員免許法施行規則により、免許教科の種類に応じて取得すべき単位数が上表のとおり定められ、それぞれ履修科目が指定されている。

この中には、本学の卒業要件としての必修科目と重複しているものがあり、これは必然的に履修することになるので、学則上の必修科目以外に次の科目を修得しなければならない。

学 科	免許教科	授 業 科 目	単 位 数
家政学科	家 庭	家庭機械及び家庭電気	4
		製図及び家庭工作実習	1
		育 児 学	4
		食 品 学 概 論	4
		(計)	(13)
食物学科	家 庭	家 族 関 係 論	2
		育 児 学	2
		家庭機械及び家庭電気	2
		製図及び家庭工作実習	1
		住 居 学 概 論	2
		被 服 学 概 論	2
		被 服 材 料 学	2
		被服構成学実習(1)	2
		食 品 材 料 学	2
		(計)	(17)
国文学科	国 語	音 声 言 語	2
		文 章 表 現	2
		書 道	2
		(計)	(6)
英文学科	英 語	英 語 学 概 論	4
(計)	(4)		

イ、教職に関する専門科目の単位の修得方法

この科目は、各教科共通で、次の14単位が必修である。このほかに選択科目も開講しているので、随意修得できる。

授業科目	単位数	備考
教育原理	4	教科教育法は、受けようとする免許教科ごとに修得しなければならない。
教育心理学	3(4)	
教科教育法	3	
道德教育の研究	2	
教育実習	2	
(計)	(14)	

7. 栄養士の免許について

食物学科は、栄養士養成施設になっている。栄養士の免許を取得するためには学則上の必修科目以外に、次の専門科目を必修しなければならない。

授業科目	単位数	授業科目	単位数
特殊栄養学	2	栄養指導理論	4
公衆栄養	2	栄養指導実習Ⅰ	2
食品材料学	2	Ⅱ	3
食品加工貯蔵学	4	食糧経済	2
食品加工貯蔵学実験	1	社会福祉	2
応用微生物学	2		
		計	(26)

8. 生活改良普及員資格試験受験資格について

家政学科・食物学科の学生は、学則上の必修科目以外に、次の専門科目を履修しておくことによつて、受験資格が有利となる。(受験科目が6科目中3科目となる。)

学 科	授 業 科 目	単 位 数	備 考
家政学科	食品加工貯蔵	4	(教職関連)
	育 児 学	4	
	食 品 学 概 論 (又は食品、栄養学関係)	2	
	被服構成学実習Ⅱ (又は実習Ⅰ)	2	
	(計)	(12)	
食物学科	家族関係論	4	(教職関連)
	住居学概論	4	( " )
	被服学概論	2	( " )
	被服材料学	2	( " )
	被服構成学実習Ⅰ	2	( " )
	Ⅱ	2	( " )
	家政学原論	2	
(計)	(18)		

(1) 教職課程の教科に関連する科目と重なるので、教職課程の履修者は次のとおり追加して履修するとよい。

家政学科………食品加工貯蔵4単位、被服構成学実習2単位

食物学科………家政学原論(又は一般教育科目の家政学)

(2) 家族関係と住居学概論は、それぞれ4単位が必要である。



## 9. 卒業論文取扱いに関する内規について

### (履修基準)

- (1) 卒業論文履修資格は卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および専門教育科目にわたって合計95単位以上を修得し学年末に卒業見込の者に与えられる。
- (2) なお、外国語科目および保健体育科目の必修科目を修得していなければならない。  
そのほか、既に開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があつてはならない。
- (3) ただし、病気その他やむを得ない理由により追試験を受験した者の単位認定の時期は4月30日までとする。

### (提出)

- (1) 卒業論文を提出する者はその年度の5月末日までに指導教員の許可を得、学科主任を経て履修届を教務課に届けねばならない。
- (2) 卒業論文は、家政学科・国文学科・英文学科は1月11日、食物学科は2月10日午後4時30分までに教務課に提出せねばならない。  
ただし、当日が休業日の場合はその翌日の指定時刻、土曜日の場合は正午までとする。
- (3) 卒業論文の受け付けは締切日の1週間前から開始する。

### (保管(審査開始まで))

- (1) 卒業論文は教務課で保管する。
- (2) 卒業論文は教務課の係が(各審査員と)直接受授するものとする。
- (3) 審査終了後は当分の間当該学科研究室で保管する。

### (審査)

- (1) 審査員は指導教員を主審とし、その学科の教員1名以上を以つて審査する。
- (2) 必要のある場合は他の学科の教員を以つてこれにあてることができる。
- (3) 審査にあつては提出者に試問することができる。

### (成績)

- (1) 評点は優(100~80)・良(79~70)・可(69~60)とし、不可(59以下)は不合格とする。
- (2) 論文審査の成績は指導教員が学科主任を経て2月中旬までに教務課に提出する。

(履修基準についての規程は昭和46年度入学生から適用)

## 10. 教育実習履修基準について

- (1) 教育実習履修資格は、卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目および教職課程科目にわたって、合計100単位以上を修得し、教育実習実施学年末に卒業見込みの者に与えられる。
- (2) なお、外国語科目および保健体育科目の必修科目、開講された教職課程科目の必修科目を修得していなければならない。  
そのほか、既に開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があつてはならない。
- (3) ただし、病気その他やむを得ない理由により追試験を受験したものの単位認定の時期は、4月30日までとする。(昭和46年度入学生から適用)

### Ⅲ 諸手続きについて

#### 1. 願出、届出の提出先について

願出・届出の手続き先は、付表を参考として所管課に提出すること。

#### 2. 各種証明書の発行について

- (1) 卒業生または在学生在が卒業(卒業見込み)証明書、成績証明書、在学証明書等を必要とする場合は申込書に記入のうえ教務課に申込すること。

なお、卒業生は県条例により、証明書1通につき50円を要する。

又、成績証明書等作成には時間を要するので、1～2日前に申し込んでおくこと。

- (2) 通学証明書、旅客運賃割引証等を必要とする者は、学生課に行き午前中にそれぞれの発行台帳に記入し、身分証明書を提示して請求すること。

#### 3. 教員免許および栄養士免許申請について

所定の科目を履修し、所定の単位を取得した者は、それぞれ所轄庁に免許申請の手続きをしなければならないので、卒業できる年次の後期にその準備が必要である。

教員免許の場合、教務課において便宜上一括して授与願を提出するよう取り扱っている。又、栄養士の免許申請は、各人が直接住所地の保健所に提出しなければならないので、教務課から関係書類を交付する。

なお、例年4年次の後期に説明会を催し、細部にわたる指導をしている。

#### 4. 欠席届について

疾病その他やむを得ない事由により欠席したときは、1週間以内にその事由を具し、教務課を経て学長に届けでること。(用紙は教務課で交付する)

- (1) 疾病のため、欠席7日以上にわたるときは、前項の届書に医師の診断書を添付すること。

- (2) 忌引は次のとおりとする。

父母配偶者子供 7日 祖父母兄弟姉妹 3日

- (3) 諸会合、集会、運動競技、放送、演劇、音楽会等に本学を代表し、学長の承認を経て出席参加する場合、その他学長が適当と認めた場合は出席扱いとする。

(公欠届)

#### 5. 休学・退学について

- (1) 疾病その他の事由により休学又は退学しようとする者は、医師の診断書、又は事由書を添え、保証人連署をもつて願い出で学長の許可を受けること。

- (2) 休学者が復学しようとするときは、期間満了の1カ月前までに保証人連署の復学願を教務課に提出しなければならない。病気のため休学した者が復学する場合には、診断書を添付すること。

## Ⅳ 講 義 要 項

一般教育科目

授 業 科 目	学 科	担 当 者	授 業 の 内 容 と 計 画
(人文科学関係) 哲 学	全	佐 藤	前半で、哲学の基本的問題を検討することによつて学のあり方について考えてみる。 後半では、前年度に引き続いて西洋近世哲学史を概観する。(前期開講) 書 名 西洋哲学史 著者名 野田又夫 発行所 ミネルヴァ書房 価 格 約1,000円
倫 理 学	全	佐 藤	倫理学の基本的問題の検討、及び倫理思想史概観。(後期開講) 書 名 小牧 治編 著者名 倫理学 発行所 高文社 価 格 800円
心 理 学	国・英 家・食	勝 俣 山 本	めざましい生長ぶりと活力をみせ、社会科学や生物学とのとけあいをふかめている心理学は、入門レベルで教えるためにも、新しいゆき方をとることが必要になった。なにかにもにぎつとふれようとした、たゞ一冊の教科書に頼るのでは、もはや間にあわなくなっている。心理学の特定の側面や見解をいつそ

授 業 科 目	学 科	担 当 者	授 業 の 内 容 と 計 画
(社会科学関係) 法 学		生 野	わかりやすく、有効に説くために、多くの肝要な事項を無視した書物によるのも、同じく不満足なのである。心理学者は、質が高く、巧みに書かれ、そして興味をそそる題材をもつて、入門学生に接することがいかに大切であるかを、ますますよく自覚しつつある。 法学は、開講予定全学科にわたり三分して開講するので、学生は各自都合のよい時間の講義を受講すること。 便宜上法学Ⅰ～法学Ⅲとするが、いずれも社会科学系の法学として単位は認定する。 法学Ⅰ 前半分は、現代社会における法を近代初期の市民法の変様という視点から、法のあらゆる分野で、その変様がどのように発現しているかを中心に考察する。後半分は憲法を中心に、主権者としての国民の立場から憲法をどうとらえるべきかを考えたい。 テキストは、法律文化社、林 迪廣編、現代法学講義を使用の予定。 法学Ⅱ 主として市民生活に即した面から法的現象、法的問題を通じて、法とは何か、法の適用、法の解釈など法学の基本概念を通じて法学的思考方法を体得させたい。

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
			<p>テキスト</p> <p>中川善之助他2名著 「市民のための法律入門」</p> <p>有斐閣 法学Ⅲ</p> <p>この講義は小集団講義とし、講義の形式に演習を加える。受講生は制限することがあるのであらかじめ了承しておくように。週1回通年であるが、1時間の講義につき2時間の予習、復習を1年間続けることができる学生の受講を希望する。</p> <p>高校3年間の受験準備生活ですりへらされた人間感覚の復活を旨として——これが主権者としての国民の意識の自覚にもつながる——日本国憲法を中心として、法学の問題について考えたい。</p> <p>テキスト</p> <p>池田政章他編 有斐閣選書「ワークブック憲法」</p> <p>近代的な歴史学が成立したのは19世紀初期であるが、その後現在にいたるまで、歴史家はくり返し「歴史とは何か」を問い続けている。そこで講義では、歴史家がどのような歴史観に立つて研究を行なってきたか、そして今日の歴史学および社会科学における有力</p>
歴史学	全	斉藤	

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
(自然科学関係) 数学	国・英	城島	<p>な歴史観(マルクスとヴェーバーの見解)について理論的・具体的に検討してみたい。</p> <p>集合論、線型代数、CRの手法の紹介。電子計算機の話しと計算実習。</p> <p>書名 教養基礎数学</p> <p>著者名 高橋健人</p> <p>発行所 培風館</p>
〃	家・食	〃	<p>解析学初歩、線型代数の紹介</p> <p>電子計算機の話しと計算実習</p> <p>書名 新数学通論I</p> <p>著者名 稲葉、福原</p> <p>発行所 共立出版</p>
物理学	全	大津	<p>初めに力学を通じて微分、積分の意味を知り、その応用に慣れ、更に我々の日常生活での体の動きと力学の関連を学ぶ。</p> <p>次にアインシュタインの特殊相対性理論を学び宇宙空間の神秘に眼を向ける。</p> <p>光の波動性及び偏光を学習し、様々の自然現象を探り、更に原子、分子の世界へのつながりを知る。</p> <p>最後に、家庭にあるいろいろの電気器具についてその構造と理論を学ぶ。</p> <p>もし時間の余有があればミクロの世界へ案内しよう。</p>

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
化学	家・食	伊勢田	<p>書名 物理学概論 著者名 荒木源太郎 発行所 培風館</p> <p>広義の生活現象に関係づけて、化学の根本概念、現代の化学の進歩状況を基本として種々の応用面についても、物理、生物、工業など隣接領域との境界にかかわらず広い視野から見ていく。</p>
〃	国・英	太田	<p>書名 生活の化学 発行所 化学同人 価格 750円</p> <p>現代化学の基礎となつている基本的原理、概念を説明すると共に、科学的な思考方法の本質を理解することを目的とする。</p>
生物学	全	林	<p>書名 女子応用科学 発行所 培風館 価格 450円</p> <p>生命の起源、細胞、動物体の構造と生理、動物の栄養、植物体の構造、植物の生理、エネルギーの転換、生体の調節作用、生殖と発生、遺伝、過去の生物と進化、生物の種類。12の部門にわたつて、動植物の根本的事象の説明を行ない、あわせて人間理解への手がかりをあたえるのを講義の目的とする。特に</p>

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
			<p>文化系学生については、飛躍的發展をとげつつある自然科学の1部門としての生物学の概要をなるべく高い水準において習得させるようにする。</p> <p>著者名 大学自然科学教育研究会編 書名 一般教育生物学 発行所 東京教学社 価格 600円</p>
総合科目 「婦人と労働」	全	渡辺	<p>「婦人と労働」のうち「婦人労働の経済学」を担当する。日本資本主義と婦人労働とのかわりあい、その初発から現在にいたるまで不可分である。すなわち婦人労働に支えられた繊維3部門(紡績、製糸、織物)は戦前、製品輸出による膨大な剰余価値の生産を通して、軍需重化学工業確立のテコとなつた。戦後、日本の産業構造は、軽工業から重化学工業基調に大きく転換したが、精密機械工業・家電工業部門は、従前からの繊維部門とともに、婦人労働を抜きにしては考えられない。農林漁業、家事・育児労働についても同じことがいえる。劣悪な労働条件に堪え、解放をめざして闘う労働婦人について考えてみたい。</p> <p>書名 婦人労働 女工哀史 職工事情 著者名 大羽、氏原編 細井和喜蔵 大河内一男編 発行所 亜紀書房 岩波文庫 光生館 価格 700円 210円 5,000円</p>

外国語科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
英語			英・米作家の作品を演習形式によつて学習せしめ、英語の基礎的力を強化充実し、併せて、文学研究法、英米事情などにも触れる。
	家	重松	書名 The Family and Marriage in Britain 著者名 R. Fletcher 青山誠子註 発行所 研究社 価格
	〃	田中	書名 Pearl Buck's America 著者名 P. Buck 発行所 成美堂
	食	井芹	書名 Ecological Morality 著者名 B. Allsopp 発行所 文理 価格 500円
	〃	山田	書名 Four Comedies of Shakespeare 著者名 I. Buckman 発行所 松柏社 価格 350円
	国	平戸	書名 The English Are Like That 著者名 Philip Carr 発行所 成美堂 価格 400円

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
	国	吉田	書名 Lady into Fox 著者名 David Garnett 発行所 開文社 価格
	英	井芹	書名 The Long Valley(II) 著者名 John Steinbeck 発行所 大阪教育図書 価格 400円
	〃	田中	書名 Best Stories of William Saroyan 著者名 W. Saroyan 発行所 興文社
ドイツ語	全	元吉	ドイツ語表現の基礎を、全体として有機的に把握し身につけることをめざす。そのために、(1)文法上の基礎的な知識を習得する。(2)ドイツの文化、文学、風土の一端に触れる読章に接し、テープ、会話などにより、生きたドイツ語表現に慣れ親しむ。 各学科共通の辞書 ○ 「木村、相良、独和辞典」(博友社) 又は ○ 「現代独和辞典」(三修社) ○ 「和独」(相良) (三修社) 又は ○ 「コンサイス和独辞典」(三省堂) 他の辞書を持つていればそれでもよい。 (使用テキスト) 「大学ドイツ語読本」(永野藤夫、磯見昭太郎著) 東洋出版 500円
	国文		
	英文	元吉	
	家政		

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
フランス語	家 国・食 食物	上西川原 元吉	「新訂、西田、恒吉、新ドイツ文法」 同 学 社 360円 「ドイツ文法―旅をしながら」(早崎守俊著) (文法と読本を兼ねたテキストで、週2回、この同一テキストを使用する) 三 修 社 750円 教養のフランス語は、第1年次と第2年次の2年間で話し言葉及び書き言葉の概略を修得するわけであるが、第1年次では週2回の演習のうち1回はテープを使用して主としてフランス語の会話によつて正しい発音を身につけ、話し言葉としてのフランス語及びその背後にあるフランスの文明、風土の一端に接し、1回は初級文法によつて読解力の基礎を身につけ第2年次の作品講読に進むことになる。 なお各学科共通の辞書類は次のとおり。 ○「新ふらんす語動詞の変化」第三書房 400円(全員購入すること) ○「新仏 和中辞典」白水社 1,500円 (他の辞書があればそれでもよい) ○「新和仏小辞典」白水社 1,500円 (必ずしも購入する必要はない) (使用テキスト)
	全	永 目	書 名 フランス小文法 著者名 島 岡 茂

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
	家・食 国	笹 原	発行所 白 水 社 価 格 650円 書 名 フランス語10課 著者名 野村二郎 発行所 白 水 社 価 格 550円
	英	有 吉	書 名 朝倉フランス語<読本> 著者名 朝倉季雄 発行所 白 水 社 価 格 400円

保健体育科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
体育理論	全	伊藤	<p>全人生を貫くプランの上に体力をつけ、維持し、衰えを防止する生涯体育の一環として、乳幼児の運動能力の発達と、それに応ずる教育的、体育的“場”と“指導法”を主軸とした“体育的環境”を考える。学生自身の体力づくりと併行して、この“種を蒔き苗を育てる”世界にメスをいれてゆく。将来母として、指導的立場につく社会婦人としての教養を高める上から必須のものであると考えている。</p> <p>書名 「親と子の体力づくり」</p> <p>著者名 伊藤基記</p> <p>発行所 東京 不味堂</p> <p>価格 1,000円</p>

専門教育科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
(食物学科) 応用微生物学	食	東矢	<p>応用微生物学の中で特に食用微生物に重点を置き、これらが如何に食品工業上利用されているかを説明し、栄養士としての専門的基礎を得る目的で容易に理解できるように講義する。</p> <p>著者名 相磯和嘉・務台蔵人 共著</p> <p>書名 応用微生物学</p> <p>発行所 医歯薬出版株式会社</p> <p>価格 700円</p>
(国文学科) 国文学史	国	一瀬	<p>専門科目としての文学史を理解させることにより国文学研究の基礎を作るのが目的である。特に近世日本文学史をとおり、近世の代表的作品を理解、鑑賞させる。</p> <p>書名 作品対照 近世日本文学史</p> <p>著者名 栗山理一</p> <p>発行所 新塔社</p> <p>価格 380円</p>
国文学作品研究 (I)	国	本田	<p>韻文学のうち、勅撰和歌集の特質を明らかにするのが目的である。</p> <p>テキスト (別に定める)</p>
書道	国	斉藤	<p>国文学科1年の書道は、中学1級(国語)の免許状を得るために開講されたもので、2単位~4単位を必修しなければならない。そのため前期1単位、後期1単位、計2単位</p>



諸手続き書類一覧表

付 表

項 目	所 管 課	項 目	所 管 課
再 試 験 願	教 務 課	履 修 届	教 務 課
追 試 験 願	〃	戸 籍 抄 本	〃
休 学 願	〃	誓 約 書	〃
復 学 願	〃	学 生 身 上 カ ー ド	学 生 課
退 学 願	〃	就 職 幹 旋 カ ー ド	〃
転 ( 入 ・ 出 ) 学 願	〃	申 込	
教 員 免 許 状 授 与 願	〃	就 職 あ つ せ ん	学 生 課
欠 席 届	〃	ア ル バ イ ト あ つ せ ん	〃
公 欠 届	〃	下 宿 等 あ つ せ ん	〃
改 姓 届	〃	館 内 ( 外 ) 貸 出	図 書 館
本 籍 変 更 届	〃	交 付	
学 内 団 体 結 成 届	学 生 課		
学 外 団 体 集 会 加 入 参 加 届	〃	卒 業 見 込 み 証 明 書	教 務 課
集 会 届	〃	卒 業 証 明 書	〃
住 所 届	〃	成 績 証 明 書	〃
住 所 変 更 届	〃	単 位 取 得 証 明 書	〃
紛 失 届	〃	在 学 証 明 書	〃
入 寮 願 ・ 退 寮 願	〃	身 分 証 明 書	学 生 課
奨 学 生 願 書	〃	人 物 考 査 書	〃
同 証 明 願	〃	通 学 証 明 書	〃
授 業 料 ( 減 ・ 免 ) 願	〃	旅 客 運 賃 割 引 証	〃
施 設 使 用 願	庶 務 課	推 薦 書	〃
納 入 金		奨 学 受 領 書	〃
入 学 金	会 計 課	ア ル バ イ ト 紹 介 状	〃
授 業 料	〃	図 書 閱 覧 券	図 書 館
父 兄 後 援 会 費	〃		

授 業 科 目	学 科	担 当 者	授 業 の 内 容 と 計 画
( 英 文 学 科 ) 英 作 文	英	片 山	<p>を履修することになっている。</p> <p>従つて演習形式により、中学校検定教科書 (習字) をテキストとして、中学校生徒指導できる程度の実技を前期は楷書法、行書法、後期は仮名書法を指導し、それに簡単な書道史、書論、教授法を講義する。</p> <p>テキストは中教出版の「習字」一年用、二三年用を採用する。</p> <p>又実技のための書道の用具、用材が必要であるので、これは出張販売を予定している。</p> <p>文法を勉強のための和文英訳にならぬようにし、平易な語句と平易な構文を用いて、気軽に平明な英文を書く能力を養わせる。</p> <p>書 名 大学英作文 著者名 上 山 政 義 発行所 山口書店 価 格 2 5 0 円</p>
英 会 話	英	E. Scherer	<p>書 名 Book 5: Modern English Chart Book 著者名 発行所 セイター 外国語研究所 価 格 5 0 0 円 2 0 0 円</p>